様式第二号の八（第八条の四の五関係）

尼産廃
第　　号
-5.6.19
収：受
産業廃棄物対策室

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2023　年　　6 月　　15 日

尼崎市長　　殿

提出者

住所　　兵庫県尼崎市中浜町19番地

氏名　　日亜鋼業株式会社
代表取締役社長　大西利典

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　06-6416-1026

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日亜鋼業株式会社
事業場の所在地	尼崎市中浜町19番地
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2240　表面処理鋼材製造業
②事業の規模	製造品出荷額　19,087百万円　（2022年度）
③従業員数	324人　（2022年3月31日時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
	（管理体制図） 別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（令和　3 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	排出量		t	t
	（これまでに実施した取組） 塩ビ・プラスチック類リサイクル処理の推進。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	排出量		t	t
	（今後実施する予定の取組） 塩ビ・プラスチック類リサイクル処理の推進。			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチックの廃棄場所を廃プラ（混合）・ビニール・塩ビ・ガラスに分け廃棄物を分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引続き廃プラスチックの廃棄場所を廃プラ（混合）・ビニール・塩ビガラス屑に分けて分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和　3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和　3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 排水処理施設から発生するスラリー量の抑制は困難ではあるが、脱水による排出低減を図る。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引続き排水処理施設から発生するスラリー量の抑制は困難ではあるが、脱水による排出低減を図る。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和　3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和　3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） リサイクルを積極的に推進し、資源の有効利用と環境汚染の予防を推進してきた。		

別紙のとおり

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td rowspan="3">別紙のとおり</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引続き、リサイクルを積極的に推進し、資源の有効利用と環境汚染の予防を推進していく。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)　②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

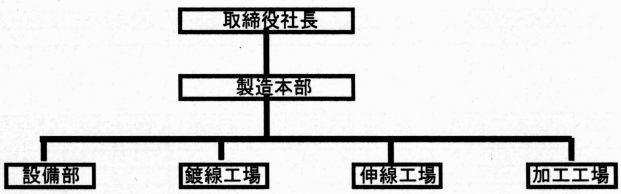
鍍線工場では落石防護網、養魚用金網、一般フェンス等の原材料を主に製造しています。
又、加工工場では自動車用部品（リクライニングシート用バネ材、ワイパーブレード）等を主に製造しています。

1）製造等フローシート
　　別紙１参照
2）工場配置図
　　別紙２参照
3）廃棄物処理フローシート
　　別紙３参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

統括責任者		職名：設備部課長
廃棄物担当		担当部署：設備部　組織人数：21名
役割	廃棄物処理統括責任者	・廃棄物処理方針策定
		・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物処理担当者	・廃棄物処理計画の作成
		・廃棄物管理状況の把握
		・廃棄物処理施設の運転、維持管理
		・廃棄物処理業者の選定、管理
		・委託契約の締結
		・産業廃棄物及び特別産業廃棄物管理票の交付、管理
		・官庁への各種報告

産業廃棄物管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状　前年度(2022年度)実績

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
排出量(単位:t)	3988.3	23	13.2	24.8	5.8	10.3	0	4065.4

○計画　目標

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
排出量(単位:t)	3950	21	10	23	5	9	0	4018

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状　前年度(2022年度)実績

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0

○計画　目標

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状　前年度(2022年度)実績

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(単位:t)	3590.5	0	0	0	0	0	0	3590.5

○計画　目標

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(単位:t)	3590.5	0	0	0	0	0	0	3590.5

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状　前年度(2022年度)実績

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0

○計画　目標

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

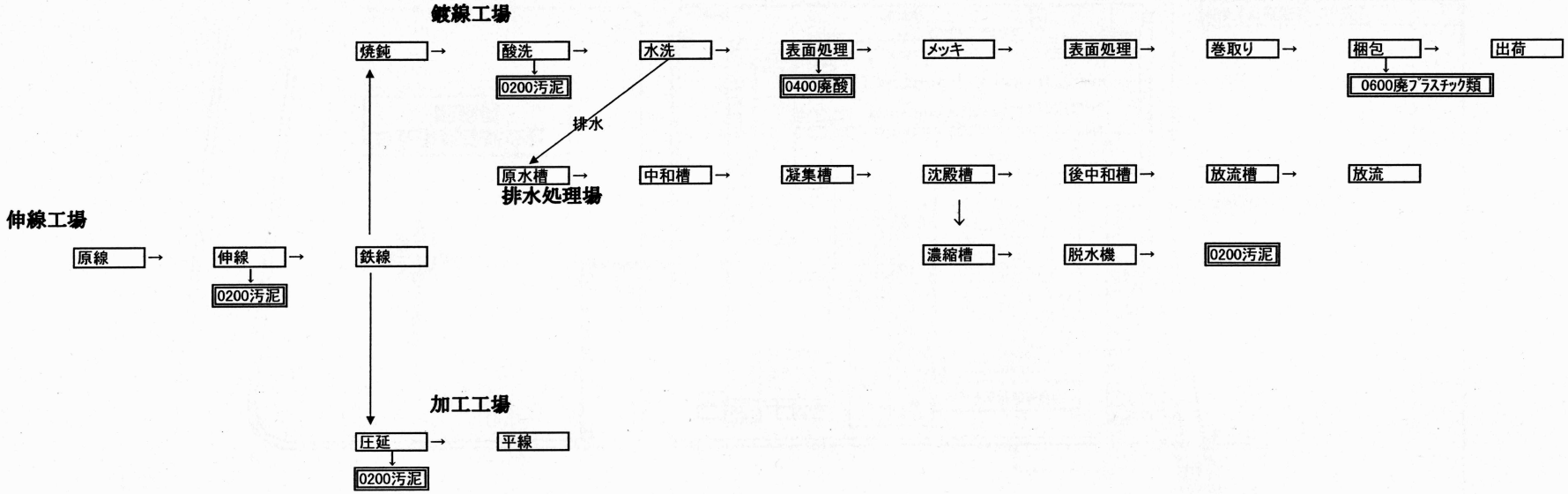
○現状　前年度(2022年度)実績

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
全処理委託量(単位:t)	397.8	23	13.2	24.8	5.8	10.3	0	474.9
優良認定処理業者への処理委託量(単位:t)	397.8	23	13.2	24.8	5.8	10.3	0	474.9
再生利用業者への処理委託量(単位:t)	0	0.8	13.2	7.6	5.8	0	0	27.4
認定熱回収業者への処理委託量(単位:t)	0	13.3	0	0	0	0	0	13.3
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0

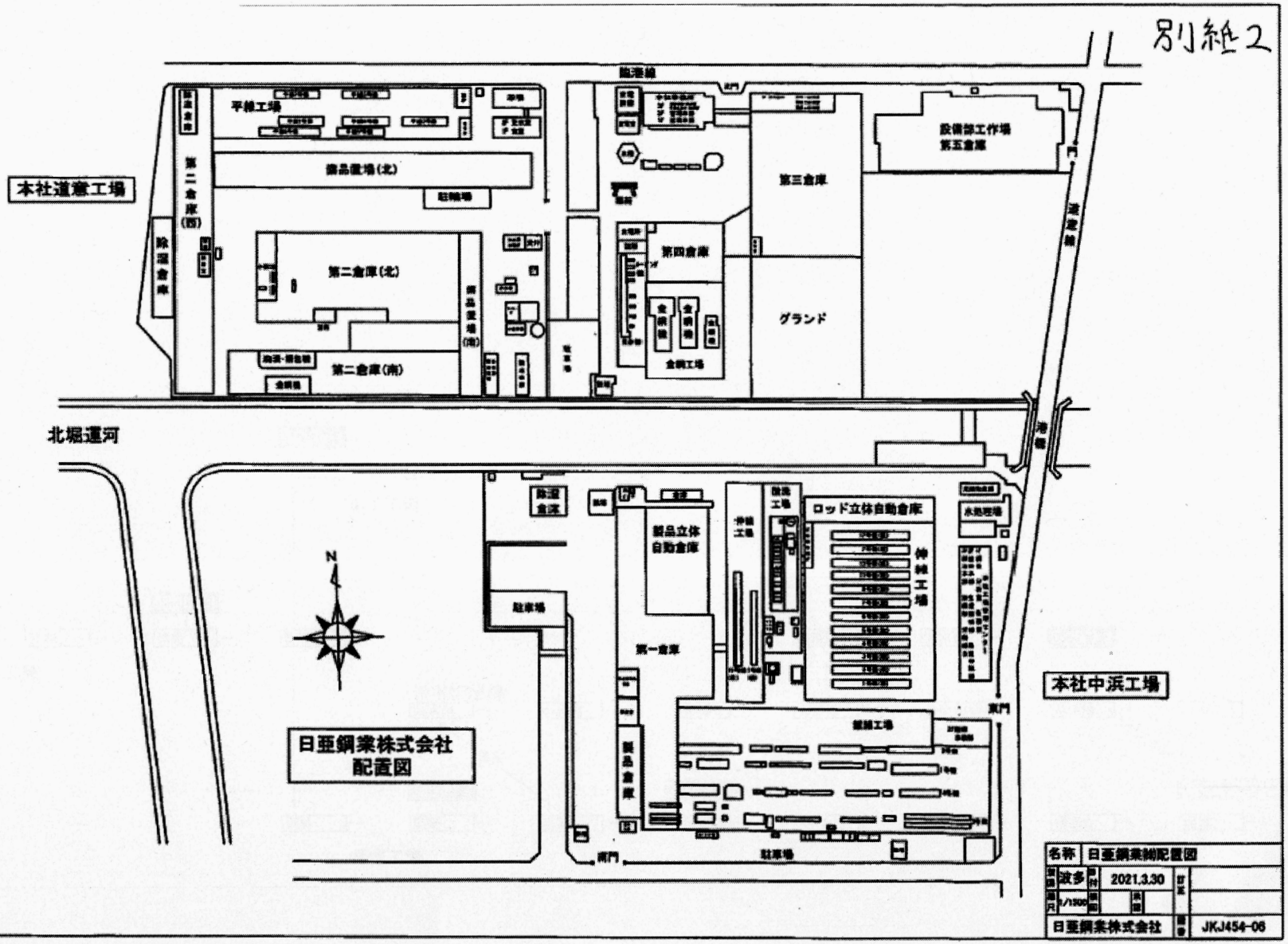
○計画　目標

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
全処理委託量(単位:t)	390	21	10	23	5	9	0	458
優良認定処理業者への処理委託量(単位:t)	390	21	10	23	5	9	0	458
再生利用業者への処理委託量(単位:t)	0	1	10	7	5	0	0	23
認定熱回収業者への処理委託量(単位:t)	0	14	0	0	0	0	0	14
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0

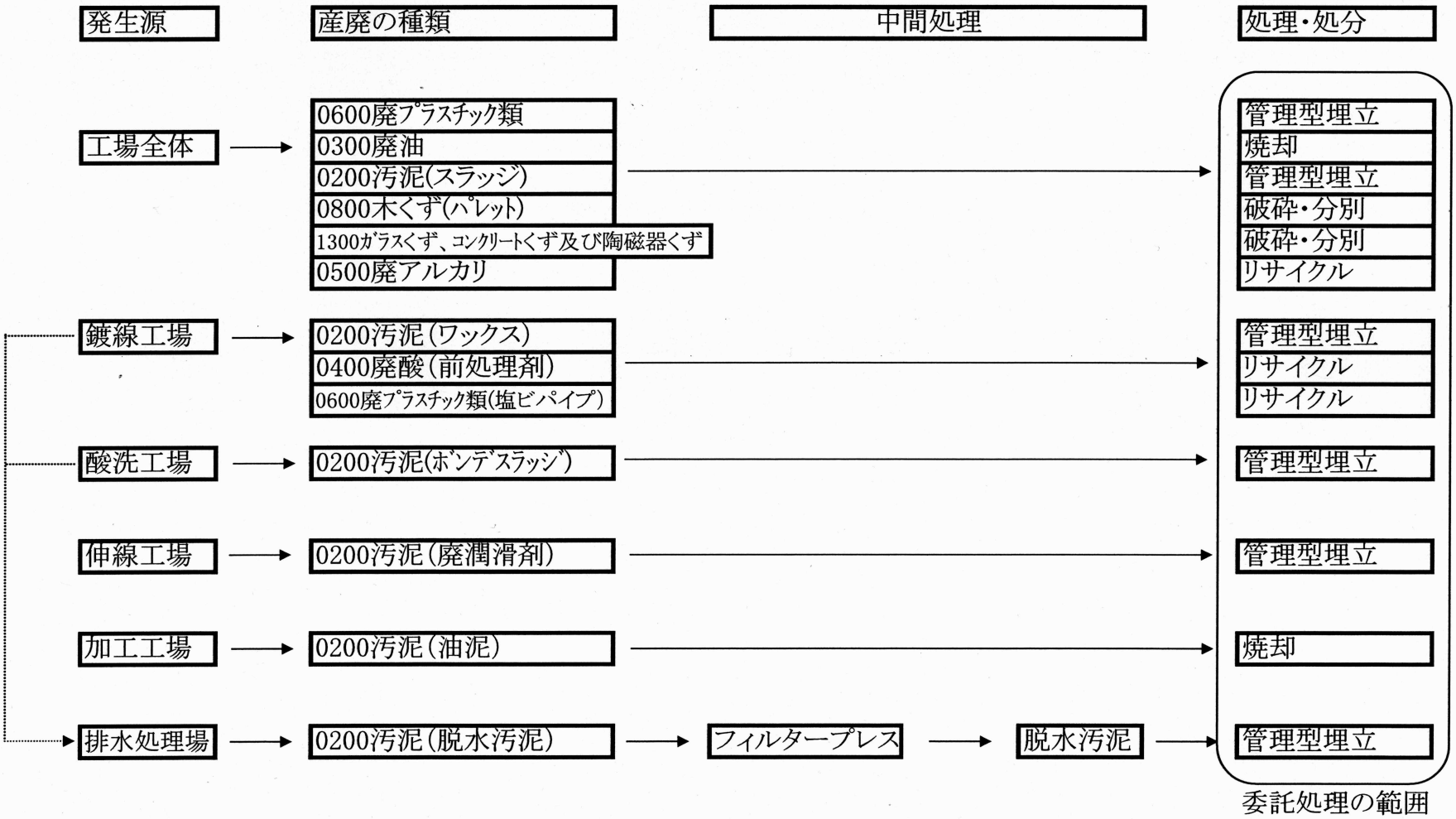
別紙1


鍍線工場
焼鈍
酸洗
0200汚泥
水洗
表面処理
0400廃酸
メッキ
表面処理
巻取り
梱包
0600廃プラスチック類
出荷
排水
原水槽
中和槽
凝集槽
沈殿槽
後中和槽
放流槽
放流
排水処理場
濃縮槽
脱水機
0200汚泥
伸線工場
原線
伸線
0200汚泥
鉄線
加工工場
圧延
0200汚泥
平線

別紙2


本社道意工場
北堀運河
本社中浜工場
日亜鋼業株式会社
配置図
平棒工場
第二倉庫(西)
除湿倉庫
製品置場(北)
駐輪場
第二倉庫(北)
第二倉庫(南)
製品置場(南)
第四倉庫
金網工場
第三倉庫
グランド
設備部工作場
第五倉庫
製品立体自動倉庫
第一倉庫
製品倉庫
ロッド立体自動倉庫
伸線工場
永熱処理場
駐車場
南門
東門
名称 日亜鋼業鋼配置図
縮尺 1/1500
2021.3.30
日亜鋼業株式会社
JKJ454-06

別紙3


発生源
産廃の種類
中間処理
処理・処分
工場全体
0600廃プラスチック類
0300廃油
0200汚泥(スラッジ)
0800木くず(パレット)
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
0500廃アルカリ
管理型埋立
焼却
管理型埋立
破砕・分別
破砕・分別
リサイクル
鍍線工場
0200汚泥(ワックス)
0400廃酸(前処理剤)
0600廃プラスチック類(塩ビパイプ)
管理型埋立
リサイクル
リサイクル
酸洗工場
0200汚泥(ホンデスラッジ)
管理型埋立
伸線工場
0200汚泥(廃潤滑剤)
管理型埋立
加工工場
0200汚泥(油泥)
焼却
排水処理場
0200汚泥(脱水汚泥)
フィルタープレス
脱水汚泥
管理型埋立
委託処理の範囲